

# 第47回サッカー競技

日程：2026年6月27日（土）～28日（日）

会場：韮崎中央公園陸上競技場



## 【参加団体】

（一社）埼玉県聴覚障害者協会

（社福）千葉県聴覚障害者協会

（公社）東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟

（一社）神奈川県聴覚障害者連盟

# サッカー競技実施要項

## 1. 競技種目

サッカー競技とする。

## 2. 競技規定

大会開催年度の(公益財団)日本サッカー協会規定の「サッカー競技規則」及び本大会申合せ事項による。

## 3. 出場資格

- ① 関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。  
人数が多い場合、人数によってA Bとチームを編成できる。  
但し、A Bとも同一都県名に限る。
- ② 県単位にチームを編成できない場合は、他県のチームに(関東地区内)に加入することができる。

## 4. チームの編成

- ① 1チームの編成は、監督、コーチ、トレーナー等のチーム役員を含め、22名内とする。
- ② 特別な理由(突発的な事故、病気等)がある場合に限り、選手の変更並びに背号の変更は、今大会の競技実施要項の規定(所定の用紙に理由を明記して大会前日に提出する)に従って認められる。但し、追加の申込みは認められない。  
(補足)G Kが1名のみ登録であっても差し支えないがG Kが負傷・退場などによりプレー続行が不可能となった場合は、フィールドプレイヤーがG Kを務めるものとする。その際は、G Kとして識別できるユニフォーム(ホーム用またはアウェー用のG Kシャツ等)を着用すること。背番号は変更しなくてよい。なお、代替りのG Kを試合前に申告する必要はないが、申告を行う場合はメンバー表交換時に行うものとする。

## 5. 競技方法

- ① リーグ戦又は、トーナメント方式とする。
- ② 試合時間は、リーグ戦方式およびトーナメント方式は70分(35分ハーフ)とする。  
WBGTが28℃以上の場合は飲水タイム(1分)を、WBGTが31℃以上の場合はクーリングブレイク(2分)を前半・後半それぞれに設ける。  
飲水タイムは前後半の半分が経過した頃、クーリングブレイクは前後半の3分の2が経過した頃に実施し、主審は視覚的な合図で開始・終了を示すものとする。  
WBGTの測定は第4審判が行い、実施の有無は大会本部(現場責任者を含む)がWBGT値に基づいて判断する。  
ただし、大会本部が必要と認めた場合は、その判断を第4審判に委ねることがで

きる。

前半と後半でWBG Tが異なる場合は、その時点のWBG Tに応じて実施内容を決定する。

- ③ トーナメント戦の場合：以下の通りとする。

<決勝戦>

同点の時は20分の延長戦を行い、延長でも同点の時はPK戦とする。

<上記以外>

PK戦のみ行う。

リーグ戦の場合：勝点によって順位を決定し、延長戦は行わない。

## 6. リーグ戦の順位決定について

リーグ戦の成績は、勝点の合計によるものとする。

- ① 試合の勝者は3点、引き分けは1点、敗者0点とする。
- ② 全試合の得失点差の多い順
- ③ 全試合のゴールアベレージ
- ④ 当該チームの対戦成績
- ⑤ 抽選

## 7. 使用球

試合球は、(公益財団)日本サッカー協会公認5号球とする。

## 8. 組み合わせ抽選

- ① 監督・主将会議において、抽選を行う。

本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は当会議への出席受付順とする。

- ② 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームは、原則として出場を棄権したものとみなす。

代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。

- ③ 組み合わせ方法は、競技実施要項に基づくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績によるシード制を採用することがある。ホーム・アウェーのユニフォーム一式を持参すること。

(GK用も含む)

## 9. 交代

選手の交代は、1試合につき5名までとする。

交代を行える機会は、前半・後半それぞれ3回までとし、ハーフタイムは交代機械に含めない。

交代した選手の再出場は認めない。

脳震盪が疑われる場合は、主審が試合を停止し、救護担当者（看護師等の医療資格

者)による確認を行う。

救護担当者がプレー続行不可能と判断した場合、主審は追加の交代を認める。

この交代は通常の交代枠および交代機械とは別扱いとし、控え選手の中から人数の制限なく行うことができる。

## 10. 警告・退場者の取り扱い

### ① 退場

退場を命じられた選手は、次の試合には出場することができない。

処分(1試合又は2試合)は試合終了、本部で決定し、チームに通告する。

### ② 警告

1試合あたり2枚の警告累積で、次の試合には出場することができない。

## 11. 危険物

※ 接触プレー時の負傷防止の観点から、競技に関わる時間帯における補聴器の装着は禁止とする。

競技中およびベンチにいる間は、補聴器の装着を認めない。

スポーツ眼鏡等の装具については、安全性を主審が確認した上で使用を認める。

## 12. ユニフォーム

① 参加申込書に登録されたものを原則とし、参加申込書送付後の変更は認めない。  
なお、選手番号の変更も認めない。

② 正のユニフォームの他、異なる色のユニフォーム(副)を参加申込書に記載し、試合には必ず正副のユニフォームを携行すること。(GKも正副揃える)

③ 選手番号は必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。

【ユニフォームに取り付ける選手番号について】

・シャツの背中 高さ25cm

・シャツの前面 右側・左側・中央に高さ10cm

・パンツの右側又は左側に高さ8cm(シャツの番号と同一)

④ 試合におけるユニフォームの決定は1回戦は監督・主将会議で行う

(※会議には、ユニフォーム一式(ホーム・アウェー、GK用も含む)持参の上、出席のこと。2回戦以降は、メンバー表交換の場で決める。

⑤ インナーシャツ、サーマルアンダーショーツ(スパッツ)を着用する場合は、シャツとショーツの主な色と同色とする。

⑥ ソックスの下に着用するアンダーソックス(カットソックスを含む)は、外から見える部分についてソックスと同じ色のものを使用すること。

また、ソックスに巻くテープやバンドも、外から見える部分はソックスと同じ色とする。

⑦ ピアス等の装飾品は、安全確保のため着用を禁止する。

テーピング等で覆っての着用も認めない。

また、危険物に該当するものは一切持ち込まないこと。

### 13. 審判の合図

※ 本大会の特性に配慮し、笛の音と併せて視覚的な合図を用いる。

フリーキック、PK、プレースキックで、キッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛がなり始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

### 14. 表彰

表彰は決勝戦終了後、閉会式において行う。

- ① 団体戦5チーム以上出場した場合は、優勝チームに優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを2位、3位チームは、賞状・メダルを授与する。
- ② 団体戦4チーム以上出場した場合は、優勝チームに優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを2位チームは、賞状・メダルを授与する。
- ③ 団体戦3チーム以下出場した場合は、優勝チームのみ優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを授与する。
- ④ 個人表彰は、最優秀選手賞・得点賞・敢闘賞を授与する。
- ⑤ 個人表彰は最優秀賞(1名)・敢闘賞(1名)とし、選考は競技主管である開催地サッカー協会が行う。

### 15. 本大会は、テクニカルエリアを設ける。

テクニカルエリアの使用について、チーム役員は、その都度1名がテクニカルエリアから戦術的指示を与えることが出来る。指示を伝えたら、所定の位置に戻らなくてはならない。全てのチーム役員は、その中に止まっていなければならないし、責任ある態度で行動しなければならない。

### 16. 審判補助員の配置

大会本部は、試合運営を円滑に行うため、可能な範囲で審判補助員を配置する。審判補助員を配置できない会場においては、主審および副審が協力して試合を進行するものとする。

### 17. その他

- ① 大会中の負傷・病気については、応急手当のほかは主催者では行わない。
- ② スポーツ傷害保険等は、各チームにおいて加入しておくこと。

#### 《 注 意 事 項 》

##### ① メンバー表の提出

メンバー表は3部複写とし、3部提出し確認を受けること。1部はチーム控えとして返却する。

メンバー表、交代用紙は監督・主将等合同会議にて配布する。第1試合については、試合開始予定時間の40分前に競技本部に提出すること。

以降の試合については、前の試合のハーフタイム時に提出すること。

試合に勝ったチームは、試合終了後に次の試合のメンバー表を競技本部まで取り

にくること。

② 交代用紙

交代用紙は5枚配布する。用紙には、時間、選手名(フルネーム)、監督のサインを記入すること。

③ チーム・ベンチ

(1) 第4審判員席からグラウンドに向かって左側のベンチは組み合わせの左側のチームが、右側ベンチは組み合わせの右側のチームが使用する。

(2) テクニカルエリアに設置されたベンチには、12名が着席出来る。

④ 練習時間

グラウンドでの練習は、試合開始20分前より10分前とする。

ただし、大会運営上支障があるときは、変更することがある。

⑤ 競技の組み合わせ

組み合わせ方法は競技実施要項にもとづくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績によるシード制を採用することがある。

⑥ その他

注意事項は、チーム全員に徹底しなければならない。

18. 本要項の改正

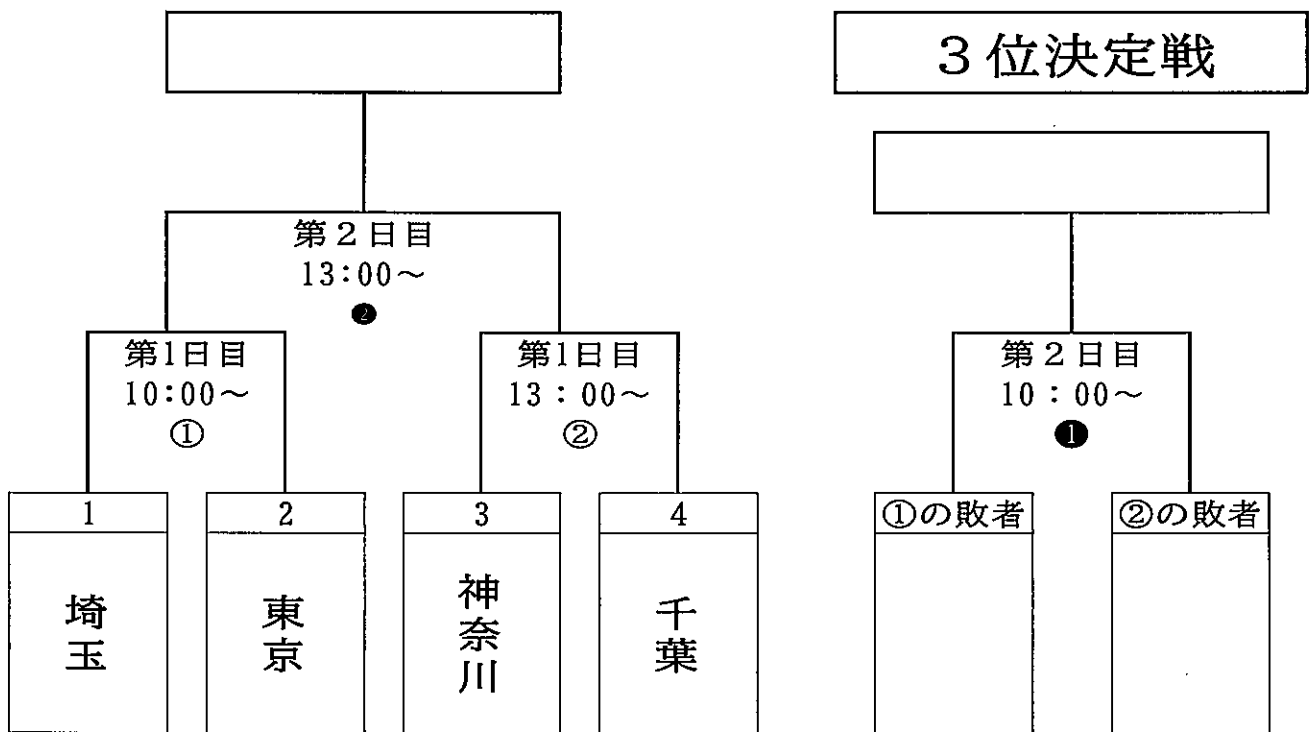
一部改正2026年 2月 7日 関東体育部委員会

# 第47回サッカー競技組合せ

競技日時 第1日目 6月27日(土) ①・②

第2日目 6月28日(日) ①・②

競技会場 韮崎中央公園 陸上競技場



【団体表彰】

【個人表彰】

優

勝

最優秀選手賞

準

優

勝

得点賞

3

位

敢

闘

賞

# サッカー競技参加名簿

## (一社)埼玉県聴覚障害者協会

体 育 部 長 高尾 橋形 勉 也  
 部 部 長 尾岡 形田 諒 希  
 監 督 佐川 藤畑 拓 涼  
 主 将 一 賢 二  
 マネージャー

背番号	ポジション	氏名
5	DF	尾鈴 形 諒
7	DF	原齋 木 大
14	DF	齋原 口 凌
18	MF	星 藤 心
19	MF	原 河 真
20	MF	木 田 優
21	GK	中 村 頼
22	DF	岡 尾 悠
23	FW	守 井 敬
26	DF	守 屋 晃
27	FW	岡 林 侑
72	MF	岡 田 拓
91	FW	岡 田 涼
99	DF	岡 佐 希

## (社福)千葉県聴覚障害者協会

体 育 部 長 白中 柳川 聡 幸  
 部 部 長 中三 川田 好 伸  
 監 督 伊丹 秀 行  
 主 将 清 水 未 子  
 マネージャー 松 枝 和 由  
 マネージャー 橋 本 敬 幸  
 トレーナー 小 川 敬 也  
 スタッフ 小 川 敬 也  
 スタッフ 小 川 敬 也

背番号	ポジション	氏名
1	GK	伊小 丹 秀
5	DF	根 林 隆
7	MF	根 本 尚
11	MF	中 工 裕
12	GK	藤 中 三 佑
14	MF	田 木 好
17	MF	高 木 健
18	MF	篠 田 聖
21	MF	高 佐 孝
29	MF	佐 中 俊
33	DF	宮 武 光
35	FW	辰 野 光
77	DF	辰 野 光
99	MF	辰 野 光

## (公社)東京都聴覚障害者連盟

体 育 部 長 川 津 亮 志  
 部 部 長 安藤 藤 悟 樹  
 監 督 将 森 代 重 卓 豪  
 主 将 一 英 威

背番号	ポジション	氏名
1	GK	内齋 田 蒼
3	FW	江藤 藤 陸
4	DF	毛 島 由
5	DF・MF	森 塚 文
6	MF	佐 重 英
7	DF	名 木 村 昌
8	DF・MF	中 川 遥
9	MF・FW	瀧 山 遥
10	MF・FW	山 井 慎
11	MF・FW	井 野 太
12	GK	河 仲 輝
13	DF・MF・FW	久 井 人
15	DF・MF	田 呂 輝
17	DF・MF	久 呂 弘
18	GK・FW	田 口 卓
20	DF・MF・FW	松 本 彩
		安 代 藤 林 直
		稻 工 小 内

## 神奈川県聴覚障害者連盟

体 育 部 長 熊 谷 徹 樹  
 部 部 長 吉 野 勇 樹  
 監 督 将 添 吉 裕 仁  
 主 将 裕 裕 仁

背番号	ポジション	氏名
36	DF	石 山 裕
66	DF	添 山 裕
37	FW	大 石 直
9	FW	綿 桐 俊
25	DF	西 吉 生 聖
17	MF	岡 野 亮
15	DF	吉 野 樹
77	MF	黒 河 内 也
20	FW	大 北 谷 樹
11	FW	那 須 川 悟
82	DF	那 須 川 悟
8	FW	東 秀
99	GK	仲 保 秀
28	MF	折 菅 真
24	MF	菅 秀
14	DF	菅 秀